



松江第一中学校だより

江戸川区立松江第一中学校
江戸川区松江5-5-1
校長 瀬戸 完一
令和6年11月14日 第7号

すべての生徒が安全・安心に生活し、夢や希望に邁進できる学校を築く

蓮池と共に

校長 瀬戸 完一

松江第一中学校は昭和22年5月に開校、翌23年9月の校舎完成により現在のこの地に移転しました。新校舎は18もの教室をもつ木造平屋建ての校舎で学校周辺は一面に蓮の田圃が広がり、白鷺が群れ飛んでいたそうです。

蓮根はかつて江戸川区の特産品でした。区内で最初に蓮根が栽培された場所は明治20年代の字喜田と松江だったようです。江戸川区の誕生は昭和7年10月ですが、当時は「半農半漁のまち」と言われ、総武線沿線を除き、蓮田や水田が一面に広がるのどかな田園風景だったようです。しかし、蓮根の栽培は都市化による蓮田の減少で生産者が徐々に減っていきました。

昭和62年に本校創立40周年の記念事業として江戸川の蓮を永く残すことを願い、本校の校庭東南角に蓮池が造成されました。蓮池は設計から施工まで、当時の生徒、教職員、PTA有志の手作りにより完成しました。種蓮は地元で育生していたものを頂いたそうです。

現在も本校PTAのOB組織「松江会」を中心に現役PTAと教職員、生徒会が長年に渡ってこの蓮田を守り続けてくれています。一緒に蓮植えや収穫祭を行い、地域の歴史と本校の伝統を守り続けてくれているのです。蓮を植え、蓮の成長を見守り、収穫する行事を通して生徒の情操を育てるとともに、卒業生、保護者、地域の方々、連携校と松江一中を強く結ぶ絆となってほしいという願いが本校の蓮池には込められています。心のふる里でもある蓮池を中心に、多くの方が本校には集まってくれています。繋がりは世代を越え、広がり大きな輪となり、いつも本校を温かく包み込んでくれているのです。

本校が地域・保護者の皆様、多くの方々に支えられ、見守られていることに心より感謝しております。令和6年度の収穫祭は11月23日（土）です。是非多くの方にご来校いただき、皆様と共に収穫を喜ぶことができたらとても嬉しいです。どうぞよろしくお願いいたします。

<本校蓮池の由来より>

この池が本校で学ぶ生徒達にとって卒業後も久しく、「窓を開ければはるばると、白鷺の群れ蓮の花…」の校歌とともに、かつての郷土の姿を思い浮かべる縁（よすが）となることを心から期待してやまない。

昭和62年5月吉日

<新生徒会本部役員が決定しました>

生徒会長	1名
生徒会副会長	2名
生徒会書記	2名
生徒会会計	2名



生徒会は、全校の生徒を会員として組織されます。生徒会活動は、生徒一人一人が、学校における自分たちの生活の充実・発展や学校生活の改善・向上を目指し、生徒の自発的、自治的な活動です。生徒会本部役員を中心に学校全体の活力を高め、よりよい学校になることを期待しています。誰もが安心・安全に学校生活を送り、夢や希望の実現に向かって活動できる松江一中を目指して。